



高々とたいまつをかがげ 野営の楽しさを満喫

市少年交歓大会開く

八月十八日から二日間、市教育委員会主催で「山口市少年交歓大会」が木戸公園で開かれました。
市内各地区から参加した小学校五・六年は、七十人、野営の楽しさを十分味わいました。大会のハイライトは、十八日夜のキャンプファイヤー。高々と、たいまつをかがげ、そのあかりに、今夏の強烈な想い出を、くっきりと、やきこみました。

少年の家出を防ごう 9月は発見保護月間

理由

例年、九月の新学期になると、少年の家出が増えます。

開放的な夏休みの生活から、急にリズムが変わるため、学校がい、遊びがぬけない、などの理由によるものです。

家庭の注意

何でも話し合えるふん囲気づくりが必要で、子供の能力に過度な期待は禁物です。

また、子供の立場にたつてものごとを考へ、相談相手になってやりましょう。友達、持ち物などにもよく気を付けて注意が必要です。

通報

家出らしい少年を見かけたとき、声をかけ、保護者や警察に連絡しましょう。

「生きがいと創造の事業」始まる

「かけ足でやってくる老齡化社会」といわれます。このため、老人自身はもとより、家族やひいては社会全体も、この対応に目をむける必要があります。この対応の一環として市では、十月から「生きがいと創造の事業」をスタートさせます。

老人の交流の場にも… 作業所を新設

かけ足でくる「老齡化社会」

今年五月末で、市が調査した市内の六十歳以上の人口は、一万七千五百八十四人で、全人口の十五・八割になりました。

これは、昭和四十年の構成比十一・七割、四十五年の十三割と比べれば、確実に、しかもかけ足で「老齡化社会」はやってきているといえます。

このため、お年寄り自身も、社会も、老後をいかに有意義に、楽しく過ごさか、過ごしてもらうかは、大きな共通の課題です。

生きがいー仕事、趣味

市が今年三月、市老人クラブ連合会を通じ、市内の千二百人余のお年寄りを対象に「生きがい意識調査」を行いました。

その結果、生きがいは「仕事」三十二割、「趣味」二十三割、「旅行」十六割、「友人との語らい」十六割、ということでした。つまり、社会に何らかの貢献をして、なおかつ老人自身も満足できる仕事があることや、体を動かし、心の満足が得られる趣味のあることが、老人の生きがいに上位を占めました。

生きがい対策に加わる

市でも、これまで、老人大学の開講、福祉体育大会、福祉大会の開催、作業グループ育成などの事業を行ってきましたが、今年十月から「生きがいと創造の事業」を始めます。

これは、能力や希望に応じ、ものをつくる活動に参加することによつ

て、老後の生活に生きがいというおいを見いだすことを目的としたものです。

この事業は、国の補助事業で県下の市町村では初めて山口市が取り組むものです。

農産加工・陶芸・手芸

このため、市では、朝倉町の市立老人ホーム福寿園の隣接地に、みそ加工場三十平方メートル、倉庫二十五平方メートルの建設に近く着工します。

この作業棟に既設の老人ホームの百平方メートルの作業棟を使ってみそづくり、湯のみなどのやきものづくり、造花、人形などの製作をはじめの予定です。

参加者を募集中

市では、現在、各地区老人クラブ連合会を通じ、その「第一期生」を募集中です。募集人員は陶芸八十人、みそづくり六十人、手芸百二十人、それぞれの講師の指導で、技術を習得します。

いずれの部門も、四グループに分かれ、各地区のお年寄りの交流もできることになっていきます。

参加料は無料ですが、交通費の一部と材料費の実費は自己負担です。

山口市助役に

本廣正義氏を再任 交通局長に吉井秀利氏

八月二十五日に臨時市議会が開かれ、八月三十一日に任期満了となる山口市助役の選任について、本廣正義助役を再任することに同意、本廣助役は九月一日付で発令されます。本廣助役は、六十歳、旧制青年学校教員養成所卒、市の都市計画課長、土木課長、建設部長、交通局長などを歴任、五十年九月一日から助役でした。

なお、任期満了の新交通局長に吉井秀利氏（市制五十周年記念行事事務局長）が九月一日付で発令されます。

お年寄りが、みんなて長寿を祝い、お互いに、生活向上の意欲を高めようという、第十三回山口市老人福祉大会が

十四日に 市老人福祉大会

○日時 九月十四日午前十時三十分から正午まで

○会場 市民会館大ホール

午前八時三十分から受け付けます。大会は、先輩物故者遺霊へ黙とう、老人福祉に功労のあった人の表彰、お祝いのことば、敬老のことば、意見発表、宣言決議などを行い、正午には終わります。引き続き、十二時三十分から、老人クラブ会員のみなさんによる楽しい芸能大会が行われます。

製作品展示即売

当日、午前九時から午後二時三十分まで市民会館ロビーでは、老人クラブ会員製作の書画、木工、陶芸、竹細工、民芸手芸品、盆栽などの展示即売会も開かれます。

長寿をみんなて祝う



大内遺跡を本格調査

中世、山口を本拠として西の京の栄えをほこった大内氏は、西日本の政治、文化史上に大きな影響を残し



電福寺境内の発掘作業

また、その大内氏の遺跡は、市内の各所に史跡などに指定されて残っています。そこで今回この大内遺跡を本格的に学術調査し、その歴史の価値を認識し、その保護および活用を図るとともに、遺跡地域における開発行為との調整を考えることを目的として、大内氏遺跡保存対策協議会が組織されました。

この協議会は、考古学、史学などの各分野の専門委員として、沢村仁（九州芸術工科大学教授）三坂圭治（山口芸術短期大学教授）八木充（山口大学教授）鈴木博司（山口大学教授）鈴木博司（山口大学助教授）近藤喬一（山口大学助教授）安原啓示（国立奈良文化財研究所）金開恕（天理大学教授）の七氏のほか、県、市の委員ら十八人で構成されています。

保存対策協議会も発足

去る八月八日に初集會が開かれ、会長に宇山市教育長を決定した後、遺跡の発掘調査の今後の計画、方法などについて協議されました。

現在、市内には大内氏遺跡として、昭和三十四年十一月に国の史跡として指定された大内氏館跡（大殿大路）築山跡（上野野令）高嶺城跡（上宇野令）凌雲寺跡（吉敷中尾）の四か所があります。保存対策協議会は、この四か所の遺跡を中心として今後本格的な発掘調査を行うことにしています。

この調査が進展すれば、大内氏遺跡の全ぼうをつかむに役立つこととなるでしょう。なお本年度の事業としては、八月から九月にかけて、大殿大路の電福寺境内の館跡、面積約五百平方メートル

発掘調査することにしてはいます。現場は、竜福寺本堂の後方、位牌堂の後に当たります。

竜福寺境内の館跡は、昨年庫裏の増築に際して、緊急発掘が行われ、金色の瓦などが出土し、注目された遺跡です。今回の発掘に際しても、館跡を具体的に示すに足る重要な遺跡が発見されることが望まれます。

館跡の発掘調査は、今年度から毎年計画的に実施されますが、さらに築山跡、凌雲寺跡にもおよび予定です。

無料法律相談

十二日に

○日時 九月十二日午後一時三十分から四時まで。受け付けは、午後一時から三時まで。

○場所 市民会館内中央公民館

○対象 山口市民

市が隔月に一回開くもので、土地売買、貸借、相続など法律上の問題を弁護士さんが相談に応じます。なお、次回は十一月に開催予定です。

「検察審査会」

こんな役所、ご存知？

あなたは、「検察審査会」という役所をご存知ですか。交通事故や詐欺などの犯罪によって被害にあつて、警察や検察庁に訴えたのに、その事件を起訴してくれない、こんな不満を持っている人のためにあるのが検察審査会です。審査会では、申し立てがあるとき、申立者にかわつて、事件などを再調査するものです。相談・申し立ては、一切無料、秘密は固く守られます。山口検察審査会は、駅通り一丁目、電話は山口(口)一三三〇です。

原爆被爆の人 健康手帳をお持ちですか

次の条件に該当になる人には「原爆被爆者健康手帳」の交付が受けられます。

○原子爆弾が投下されたとき、当時の広島市付近、長崎市付近（地区指定があります）で直接被爆した人と、その当時被爆者の胎児であった人

○原子爆弾が投下されてから、二週間以内に、被爆地以外から、救護活動、医療活動、親族さがしなどのため、被爆地に立ち入った人

○このほか、多数の死体の処理被爆者の救護などに従事したため、身体に放射能の影響を

受けた人と、その当時、その人の胎児であった人は、山口保健所（葵二丁目☎二一五一）へご相談ください。なお健康手帳の交付申請も、保健所へ提出することになります。

原爆被爆者健康手帳保持者に對しては、原爆特別措置法および原爆医療法により、医療費の交付、また、被爆症状によつては、特別手当の支給などの援助処置が講ぜられます。

月額400円で200万円保障 少ない負担で生活を守る

中小企業の 共済会

中小企業労働者共済会は、中小企業で働く人の福祉対策の一つで、安い掛金で、死亡、火災などのとき、共済金の給付、共済資金の融資などの事業を行うものです。

加入できる人

市内に住所または、勤務先があり、常用従業員三百人（卸売業百人、小売、サービス業等五十人）以下の事業所に雇われている人と、常用従業員二十人（小売・サービス業五人）以下の事業所の経営者です。

共済の種類
Ⅰ型：十五歳から六十四歳までが対象
Ⅱ型：Ⅰ型を二口加入する人が対象
高齢者型：六十五歳から七十歳までが対象

共済会費
一人一口、月額四百円、入会金二百円

共済給付金
死亡、廢疾、障害、入院、治療、災害、結婚に、それぞれ所定の共済金が給付されます。

加入申し込みは、事業所単体加入が原則ですが、個人加入も可。申し込み、問い合わせは、市役所商工観光課内の同共済会へ。

加入申し込みは 随時



さかんに行われている病虫害防除作業。県内の薬剤使用量は全国的に多いということです。

新しい出発

日本人の主食である米。この米の増産は、米づくりが始まって以来の課題でした。そして、時代の要請を受けながら、われわれの祖先は、米づくりにばげんできました。いま、米は余る時代ですが、作目の王者で、市の重要生産物であることにかわりはありません。米づくりの歴史や課題などを拾ってみました。

■市内一の産物
作付面積五千三十畝、生産量二万四千八百ト、粗生産額八十二億円。これが昭和五十二年産の市内の米の数値です。
米は農業粗生産額の実に六十六割を占め、作目の王者である

米づくり・米づくり

だけでなく、一部の工業製品を除き、山口市内では最大級の産物です。

栽培は拡大の一途

吉田遺跡、朝倉遺跡の発掘調査で水田の遺構が発見されています。山口地方も弥生の昔から主食の米づくりにばげみ、特に江戸時代を中心に、干拓政策によって約千五百畝の干拓地ができました。しかし、昭和三十年

十六畝になりました。

「まさしく、農業技術の勝利」と田中修次市農協指導販売課長は話されます。品種改良、減損防止など農業技術の果たした役割は大きいといえます。また、昭和四十年前後を中心に行われた集団栽培、米づくり運動が、技術の底上げと、平均化に果たした役割りは大きかったといえそうです。加えて、かんがい排水施設などの整備は、極端な干ばつ被害から米作を救って

時代の影濃い米作り

反収五百キロレベルに

代から宅地転用がふえ、徐々に減少、昭和四十五年から米の生産調整によって、減少の傾向です。まさに、時代の影を如実に背負ってきたともいえます。

四十以後、急上昇の反収

大正元年から五年まで、現地域の十ア当たりの収量は、三百七ギ。これが昭和四十八年から五年間の平均では、四百九十六ギとなり、約六十年間で、百九十ギ伸びたことになりました。戦後、生産資材などの不足で落ちた十ア当たり収量も三十年を境に上昇をはじめ、昭和三十八年から五年間の平均では、四百二

きました。

農繁期のピークなくなる

昭和十年の稲作の県内の十ア当たりの労働時間は、二百一十一時間、一日八時間労働で換算すると約二十六人役となります。しかし、陶村史が記載する明治初年の陶地方米づくり記録「星を載いて出、月を帯びて帰る」労働の時代とは、農機具と技術がかなり改良されています。

秋穂二島における稲作史をみると、昭和十年頃には、動力脱穀、稲摺機が入り、いもち病の防除にボルドー液の撒布がはじまっています。

やまぐち357

自然

ボダイジュ 繁る

落葉喬木です。釈迦がその下で悟りを得たと伝えられ、日本では主に寺に植栽されています。夏の初めに、葉を繁らせ、淡黄色の花を咲かせます。

このボダイジュ、夏の暑さの到来する時分、早くも、黒くて、丸い小さな実をつけ、実りの秋のおとずれをいち早く告げています。

「泉にそいて茂るぼだい樹 したい行きては、うまし夢みつ」というシューベルトの『ぼだい樹』の歌。この歌で誰もが名は知っているボダイジュが、市内では、洞春寺と龍藏寺の境内にあります。



市民

「手話」普及に 山口手話友の会 会長 綾城明美さん

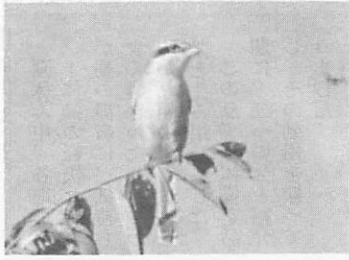
このほど結成された「山口手話を広める会」の推進役が山口手話友の会会長綾城明美さん。耳の不自由な人の話



し相手になるのが、この会の趣旨です。手話を学ぶ団体はあっても、これに一般市民に広げた団体は、全国的にも珍しいということです。

綾城さんは、十年前、市が主催した手話勉強会に出席したのが「手話」とのかかわりの始まり。「鑄銭司でろう学校の近くで育ったので、割とスムーズにこの道に入った」とのこと。会は毎週水曜日例会を開き、学習と耳の不自由な人との交流をします。「年に一回三か月間の市民講習会の受講者はすでに延五百人、手話も静かなひろがりを見せている」と手話同様手ぶりを交え話される。山大教育学部職員。「とにかく熱心」が仲間間の綾城評。

(5)



青竹の天へ日を喚び百舌鳥猛る
— 一太 —

つくつくぼうしの鳴き声とともに、夏の暑さも日ごとに衰え、いよいよ秋の到来。天高く、地上には実りの喜びが満ち、健康、スポーツ、勉学には好季節です。自然の恵みに感謝し、温かい心のふれあいの輪を広げよう。

9月のこよみ

■二学期始まる 1日。長い夏休みも終わりに、いよいよ勉強に最適の二学期に入ります。悔いのない学期となるよう、お互いに頑張りましょう。

■防災の日 1日。“災害は忘れたころにやってくる”防災の日は大正12年9月1日に起きた関東大震災の日になみ、災害に対する認識を深め、対処する心構えを平常から準備することを目的としています。災害に対する防備を充分、考えておきましょう。

■市民体育大会・いこいの広場 2日 第16回市民体育大会が、県陸上競技場などで開かれます。また、その隣接の維新百年記念公園では、“青空天国いこいの広場”が開催されます。家族揃って参加しましょう。

■敬老の日 15日。この日から一週間は老人福祉週間。市内各地で、世のために尽されたおとしよりに対して、感謝の行事が行われます。

■秋の彼岸 21日～27日。秋の彼岸の入りは21日、中日は24日。家族みんなでお墓参りなどをして、祖先をまつりましょう。

・ 8日白露 ・ 9日菊の節句 ・ 17日仲秋の名月 ・ 23日動物愛護デー

■機械化貧乏……
昭和五十年の農業センサスによると、農家の九十八割は、米をつくっています。そして、農

これが昭和三十年になると、百八十三時間、四十年は百四十四時間、五十三年は九十三時間と大幅に減少してきます。特に、昭和三十五年前後の減少は、動力耕うん機と除草剤の普及であり、昭和四十五年前後は、稲刈機、コンバイン、田植機の普及でした。そして、六月、十月にあった稲作労働のピークは落ちてきて、これまで女性中心だった米作り農作業は、次第に男性化への傾向を強めてきました。

集落での米作りに活路 経済性の追求に重点

平川技術信託組合は、構成員の経営規模の拡大の一助にと、米作りの作業を請負うために、昭和四十五年に発足した市内では老舗の信託組合です。

その組合長山下一雄さん(例)は体験の中から、将来の米作りをこう語られます。「自立でき、経営的に採算がとれる経営規模といったら、現在では三畝以上となるでしょう。しかし、都市近郊では、農地は米作り資本でなく、資産的な要素が強くなつた現在、この実現は現実には不

可能に近い。極端にいえば、農地改革のような大改革も近い将来必要ではないか」と話されます。

そんな現況の中に、トラクタ、I、自走型コンバインなどの大型償却機械がドンドン入ってきました。県内の米の生産費調査によると、四十八年には、千円の固定資本の投下で、九百余円の生産性の向上をもたらしただけで、五十二年は、四百五十円に低下しています。大内の中核農家の人が笑いながら話されました。「米作りはラクになったが、金はエラくなった」と。まさに「機械化貧乏」の中の米作りと極言する人もいます。

最後に、田中課長の話。「米の買手市場は、当分続きそう。このため『売れる米』への考え方の統一が必要です。さらにまた米作りだけの自立経営は、不能で、圃場を整備し、水田を畑作化した中での農業経営が、もつともっと考えられるべきではないか」。

三氏の話の中に、これから、三十年、五十年後の米づくりへの指針が含まれているのではないだろうか。

やまぐち 357



下立小路に昭和四十三年四月に開館した山口市福祉センター。

施設 福祉センター (児童館・老人福祉館)

同館は、児童館と老人福祉館とに分かれ、主な事業として、児童館は、絵画教室などの各種講座やカギツ子学級を開設、読書、遊戯室などがあります。老人福祉館は、老人大学や俳句の趣味グループ、老人クラブの育成や健康相談、回復機能訓練などが行われ、お年寄りや子供の憩いの場として利用されています。今年四月から、管理運営が山口市社会福祉協議会に委託されました。

このセンターの図書室には絵本から低学年向けの本が約千五百冊、貸出しを行っています。自由です。気軽にご利用ください。

嘉川の八幡宮
木の鳥居
嘉川八幡宮の鳥居が、この度新しく建て替わりました。鳥居という石の鳥居が普通ですが、嘉川八幡宮の鳥居は昔ながらの木の鳥居です。この木造鳥居は、四脚鳥居という形式。つまり安芸の宮島の大鳥居と同じ形で、柱の前後に控え柱があります。嘉川八幡宮の鳥居は、約二十年目ごとに新しく建て替え



話題
高さは七・五層、柱の周囲が一・五層もある大きな物です。その木材もなかなか入手がむづかしく、この度は輸入材が使用されました。緑の社叢に円塗りの鳥居が映え、お宮も一層神々しくなりました。



△ 鰐石こども会のラジオ体操

白線に直面し... 鰐石町内会
体操をするには、ある程度の広場がいります。しかし、広場がなくとも、アイデアがあれば町内こそって体操をすることが出来るのです。
鰐石町。この町内は、「重岩(かさねいわ)」でよく知られている鰐石橋から黄金町に通じる町内で、道路をはさんで、家並みがびっしり。
このため、町内子供会のラジオ

白線に直面し... 鰐石町内会

夏休み中、各地でラジオ体操の軽快な音楽が朝の静寂に、気持ちよく響きわたり、さわやかな朝の清々しい光景を生み出しました。
このラジオ体操を話題に、三つの会を紹介し、その効用を探ってみました。

オ体操も思うようにはできないのが現状ですが、昭和三十九年、山口国体の翌年から唯一の空間となつている旧県道の両端を利用したラジオ体操が実施されています。
このラジオ体操、今では、道路の両端に幅三丈、長さ六十丈の白線を一列三十丈おきに引く、白線二列対面ラジオ体操として、すっかり定着。池田町内会長も「このラジオ体操により、子供たちの健康と早起きの習慣が保たれる」と大いに張り切っておられ、小さな子供も互いに顔を見合わせる体操だけに

そう狭く感じさせています。
この集落ラジオ体操の根柢は、前市政協力員・伊藤清さんの時にはじまり、戸主・婦人会合同の旅行の日に地区の賛同を得て、発足したとのこと。
おばあさんと一緒にくる孫。お父さんと一緒にくる子供たち。四方、水田ばかりの地区の朝。ラジオ体操に集うお母さんがたも、体操後は、家事の忙しさも忘れ、しばし、話はずんでいよう



△ 新聞作沖集落のラジオ体操

朝の目覚めに一・二・三... さわやかラジオ体操三題

集落がみんなて... 新聞作沖地区

地区民の健康管理と日常の対話の場を求めて、名田島新聞作沖地区では去る四月一日から、朝のラジオ体操が実施されています。
地区の総人口は約百二十人。参加者は、現在、半数近い五十人前後。特に戸主の参加は八割強。
老若男女の集うラジオ体操は、さほど広くない地区会館前の広場をいっ

はじめてから約五カ月、今では、第一と第二との間を利用して、地区への連絡事項なども報告されています。
現協力員の藤井さんも「地区への伝達、相互の融和に非常に役立つ」とのことです。
二十余年間、職場で
山口日産K・K
現在、殆どどの職場において職場ラジオ体操が実施されています。
中でも、山口日産K・Kは、昭和三十二年からはじめられ、

五十二年には、ラジオ体操実施優良職場として、山口郵便局・NHK山口放送局・山口県ラジオ体操連盟から表彰をうけ、市内の職場ラジオ体操の草分けともいえる存在。
この山口日産のラジオ体操は、現在、約百五十人の役員・社員によって行われていますが、その発起者は現場の一社員、「朝、仕事に取りかかる前に、ラジオ体操をしたら」という申し出に端を発すとのこと。
今では、この朝のラジオ体操は、山口日産社員の職場生活の中に、すっかり溶けこみ、仕事を始める一つのけじめ、区切りとなっているようです。
松原総務課長も「健康、仕事の能率アップ、キビキビした態度につながる」と大いに評価。
また、「やるからには、ダラダラしたのでは疲れるだけ。会社のイメージダウンにもなる」と、はつらつ体操を強調。

山口高等学校(旧制)開校六十周年記念 緒方 彰 氏の講演 田島直人

同校は、大正八年の創立、昭和二十五年に学制改革で廃止されました。今年開校六十周年にあたり同記念実行委員会では、九月十五日に記念行事を計画していますが、その前夜行事で、次のとおり、公開記念講演会を開きます。
日時 九月十四日午後六時。入場料 無料



市制50周年記念 NHK公開番組

FMリクエストアワー 九月二十二日午後三時十分から六時まで、市民会館小ホール。ゲスト坂本九、麻生よう子。歌、リクエストコーナー、ゲーム。生放送。
土曜指定席 九月二十三日午後二時から三時三十分まで、市民会館大ホールで収録。ゲストは坂本九、葵ひろ子。十月六日、十三日午後〇時二十分から総合テレビで放映。
ひるの散歩道 九月二十四日午後一時三十分から二時五十分まで、市民会館大ホールで収録。ゲストは清水健太郎、葵ひろ子。九月二十五日、二十六日午後〇時三十分から、NHKラジオ第一放送で放送。
NHKアートフラワー教室 九月二十七日午前九時三十分から午後一時まで、二十九日午後二時から五時三十分まで、NHK山口放送局第一スタジオで行う。講師門田洋子フラワーデザイナー。
見学の入場は、いずれも無料ですが、土曜指定席、ひるの散歩道は、入場整理券が必要です。希望者は、九月十二日までに往復ハガキで、山口市中央五丁目NHK山口放送局へ。

(7)



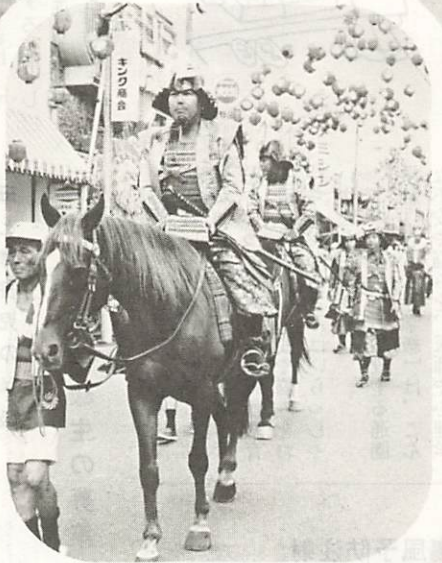
カメラ



▲ 早朝の健康ウォーク—古き里を歩く
夏のふるさとの朝を歩こうと、8月5日早朝、市民90人が亀山公園に集合、県庁から香山園を通って、護国神社まで古き街並みの続く約4.5キロを元気よく歩きました。

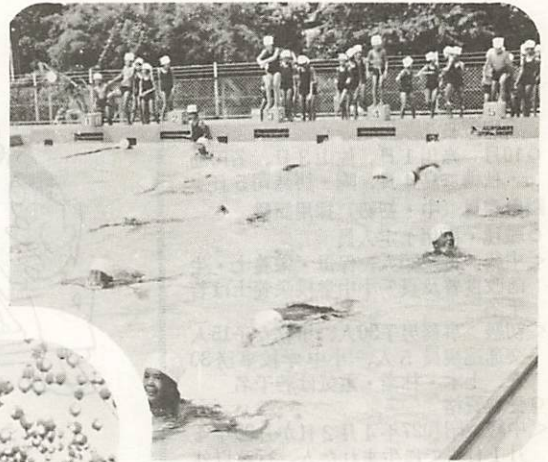
華やかな中世絵巻

8月5日から始まった山口七夕ちょうちんまつりの最終日、平安から桃山時代の風俗に仮装した150人が、大市から荒高、駅通りをパレード、華やかな中世絵巻をくりひろげました。



▶ 自転車専用道が完成
七月二十七日「山口秋吉台公園自転車道」のうち、山口から小郡間が完成、井手ヶ原公園で市民二百人が参加してサイクリング大会を兼ね、開通式が行われました。

◀ 汗を流して火災訓練
少年に正しい火災知識をと八月七日から二日間、県消防学校で少年消防クラブの合宿訓練が行われました。参加した四十二人の中学生は、火災に対する心構えや、避難の訓練などに、汗を流しました。



▲ 水しぶき、ヤンヤの声援

8月11日、二島小プールで第9回二島地区体力づくり子供会水泳大会が行われました。出場選手約80人、水しぶきをあげての熱戦に、ヤンヤの声援がとびかいました。



同和問題を考える

不合理な身分の差別は、歴史の中でつくられたものです。幕府の政治を行うためのしくみであったのです。

このことは、同和对策審議会答申の「同和问题とは」という中で、はっきりと述べています。

明治維新になり、解放令が發布され、形式的には身分差別はなくなりましたが、実質的には何らの変化はなく、今まで通り差別は残されました。

その後、差別撤廃のため、大正十一年に全国水平社がつくられ、不合理な差別をなくすために大きく貢献していましたが、戦争のために活動することができなくなりました。

戦後は、新しい憲法のもとに日本の民主化を目指しているろいろな改革が行われましたが、不合理な差別はなくなりません。その間にも、不合理な差別をなくすための努力は続けられたのです。

昭和四十年、同和对策審議会答申が出され、昭和四十四年に、十年の時限立法として同和对策事業特別措置法が制定されました。今年は、その十年目になりますが、この法

同和教育実践 (2)

「部落差別の歴史的背景」

律の三年延長がきまっています。

この法律に基づいて、不合理な差別をなくすためのいろいろな事業がなされてきました。

その事業は、生活環境の改善、社会福祉の充実、産業の振興、職業の安定、人権擁護活動、教育の向上などです。

こうした同和对策事業に対して、うらやましいという声を耳にしますが、これは、差別をうけたことのない人の考えだと思いません。同和地区の人びとの何百年にわたる不当な差別の苦しみを考えれば、そのような考えは出てこないのではなideいでしょうか。

※同対審の中から

同和问题は、日本の歴史の流れの中で政治的につくられた身分制度に始まる差別によって、日本国民の一部の人びとが、経済生活、社会生活、文化生活について、とくに低位な状態におかれているという問題です。

現代社会においても、部落差別によって、いちじるしく基本的人権を侵害され、とくに近代社会の原理として、だれにも保障されている市民的権利と自由を完全に保障されていないという、もともと深刻にして重大な社会問題である。

不燃物の収集日

出張所地区

- 9月 平川11日、大内13日、小鯖17日、吉敷18日、大歳21日、仁保26日 宮野27日
- 10月 嘉川1日、佐山3日、名田島・秋穂二島4日、陶・鏝銭司5日
- 県職員(中・初級)採用試験
- 職種・採用予定人員
- <中級>行政25人、保母・栄養士・生活改良普及員・小中学校栄養士は若干名
- <初級>事務男子30人、事務女子15人 交通巡視員5人、小中学校事務30人、土木・林業・電気は若干名
- 受験資格
- <中級>昭和27年4月2日から35年4月1日までに生まれた人。行政以外は、資格・免許がある人(来年3月まで取得見込みも可)
- <初級>事務、土木、林業、電気は昭和33年4月2日から37年4月1日までに生まれた人。交通巡視員(女子)、小中学校事務は、昭和29年4月2日から37年4月1日までに生まれた人
- 一次試験 10月14日午前10時、山大
- 受験手続き 受験申込書(県人事委員会、県税事務所に備付け)で、9月14日までに春日町8-1 県人事委員会へ



最近、ボランティアや社会福祉のためといって、物品の訪問販売や募金をしている人がいるようです。このような販売員がきた場合は、団体名、氏名を確かめるとともに、趣意書、寄付先などを確認することが大切です。不審に思ったときは、すぐに一〇番するなどして、福祉の名を借りた悪質な行為をなくしていきましょう。

まず、身元確認 ボランティアと称する 物品の訪問販売や募金

三歳児検診などで、心身に障害の疑いがあると診断された幼児がおられる家庭で、日常の育児やしつけ、あるいは義務教育を受けるのに、不安や悩みをお待ちのおかあさんはいらっしゃいませんか。このたび、市が開設する通園学級「しらさぎ学級」は、こんな不安や悩みを、医師や心理学者

母と障害児の学級 しらさぎ学級生の募集

- 山口文化バスの会 30日に宇部市へ
- 日時 9月30日午前8時30分市民会館前出発
 - コース 福原越後邸跡一宗隣寺一琴崎八幡宮一箱降城跡一東隣寺など
 - 会費 大人 2,500円、子供・身障者 1,800円
 - 講師 内田 伸氏
 - 申し込み ハガキまたは電話で、葵2丁目市交通局山口文化バスの会事務局◎山口◎—2555へ。定員90人。定員になり次第締め切り

- 小学生の体操教室開く
- 日時 9月18日開講、11月6日まで 毎週火曜日午後5時30分から
 - 会場 大蔵小学校講堂
 - 対象 小学3年~6年男女各15人
 - 参加料 1,500円
 - 市教委、市体操協会の主催。希望者は9月13日まで、市教委体育課◎—0285へ

中小企業従業者への低利制度融資 県では、中小企業従業者の生活安定と福祉の増進のため、生活資金、貸金還本資金、退職者教育、住宅資金償還などの融資制度をもっています。貸付け利率は低利(生活資金年5%)で借り入れは随時受付けています。くわしくは、県庁労政課へ

一新築の鳳陽館— 貸会議室があります 旧山口大学経済学部の一角に、山口高商、経専、山大経済学部の同窓会・社団法人鳳陽会の手で、今春鳳陽館ができています。当館には、35人程度の貸会議室があります。料金は午前中1,500円、午後2,500円、終日4,000円です。詳細は、鳳陽会事務局◎④—4361へ

国省エネルギーへの提言募集 内容 暮らしの中でのエネルギーの上手な使い方、エネルギー節約の具体的実践例、生活の中でエネルギーを無駄なく大切に使う方法などを400字詰原稿用紙5枚程度で 対象 小・中・高校生と一般 応募 9月30日までに、滝町1-1 県庁県民生活課へ

の専門の先生などの指導をうけ 入級希望者は、至急、市役所福祉課へお申し出ください。 日時 九月十二日開設、十一月二十八日まで毎週水曜日午前十時から十二時三十分まで 場所 市福祉センター(下堅小路) 費用 参加費は不要。交通費、食費は、各自負担

3回あります ジフテリア・百日咳・破傷風予防注射

- 該当者 1期 生後2年から4年までの間に3回注射する 2期 1期終了後1年から5歳半までに1回注射する
- 料金 無料
- 注射のできない幼児 有熱患者 病後衰弱者または、栄養障害者 アレルギー体質またはけいれん性質の人
- その他 問診票に押印が必要

実施場所	1回目	2回目	3回目	時間
市福祉センター	9月11日	10月2日	10月23日	13.30~15.00
県薬剤師会館	9 12	10 3	10 24	"
市役所市民ホール	9 13	10 4	10 25	"
仁保生活改善センター	9 11	10 2	10 23	13.30~14.30
小鯖公民館	9 20	10 11	11 1	13.30~14.30
大内出張所	9 13	10 4	10 25	13.30~15.00
宮野	9 11	10 2	10 23	9.30~11.00
吉敷	9 13	10 8	11 8	14.00~15.00
平川	9 11	10 2	10 23	13.00~14.30
大歳	9 12	10 3	10 24	13.00~15.00
陶 公民館	9 11	10 3	10 25	13.30~14.30
鏝銭司 相川病院	9 12	10 12	11 8	14.00~15.00
名田島 公民館	9 12	10 12	11 12	13.30~14.30
秋穂二島	9 12	10 3	10 24	13.30~14.30
嘉川	9 12	10 3	10 24	13.30~15.00
佐山	9 13	10 4	10 25	13.30~14.30

9月の休日当番医	外科系		内科系		外科系		内科系		
	病院名	電話	病院名	電話	病院名	電話	病院名	電話	
29	柴田 外科	山口2-1012	大田 医院	山口2-1643	共立 病院	阿知須2200	岡池 医院	小郡2-2388	嘉川 2510
9	佐々木 脳外科	山口2-2537	安国 医院	山口2-7681	立村 外科	小郡2-2513	田井 医院	小郡2-1002	二島 2002
15	河野 外科	山口3-1333	近伯 医院	山口2-0822	小川 整形	小郡3-1515	藤原 医院	小郡3-0637	秋穂 2705
16	林 外科	山口2-0139	徳内 医院	山口2-1490	第一 病院	小郡2-2887	同 仁 医院	小郡3-0616	阿知須 4006
23	柴田 整形	山口7-2800	神小 小児科	山口4-3780	村田 病院	小郡2-0333	田村 医院	小郡2-0411	嘉川 4749
24	小田 整形	山口4-8972	小泉 小児科	山口2-0009	第一 病院	小郡2-7100	小野 医院	小郡2-0333	秋穂 2353
30	吉永 外科	山口2-3263	ササキ 医院	山口2-3237	同 仁 病院	阿知須4006	新井 医院	小郡2-0916	阿知須 2048

診察時間は8時30分から17時30分 歯科は県口腔センター吉敷下東(◎3・1820)へ、9時~15時。